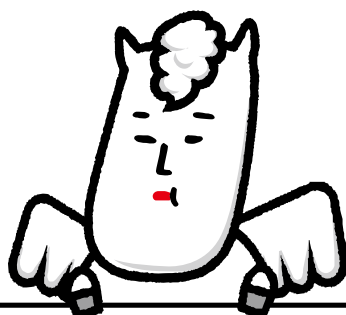


令和2年度(令和元年度実績)
白馬村第5次総合計画・総合戦略評価



村男の通知表

VICTOIRE CHEVAL BLANC MURAO III
白馬村 5000-4-125029-1000



令和2年10月

資料1 白馬村第5次総合計画・総合戦略評価について

資料2 白馬村第5次総合計画評価シート

資料3 白馬村総合戦略評価シート

資料4 外部評価委員・事務局名簿

令和2年度(令和元年度実績)白馬村第5次総合計画・総合戦略評価について

1. 評価の目的

総合計画、総合戦略の重要業績評価指標(KPI)を内部(役場)と外部(住民)がPDCAサイクルに基づき、事業進捗状況を確認するため、毎年度評価を実施します。

○白馬村第5次総合計画 21ページ 3. 総合計画の推進より

開かれた村政と住民参画の推進を村政運営の基本とします。計画期間中は、事業の達成度や時代潮流の変化を確認するために、計画が進捗しているかの検証を行うための組織の設置、コーディネーター役の配置、PDCAサイクル仕組みの構築などを行い、随時点検と見直しを行います。

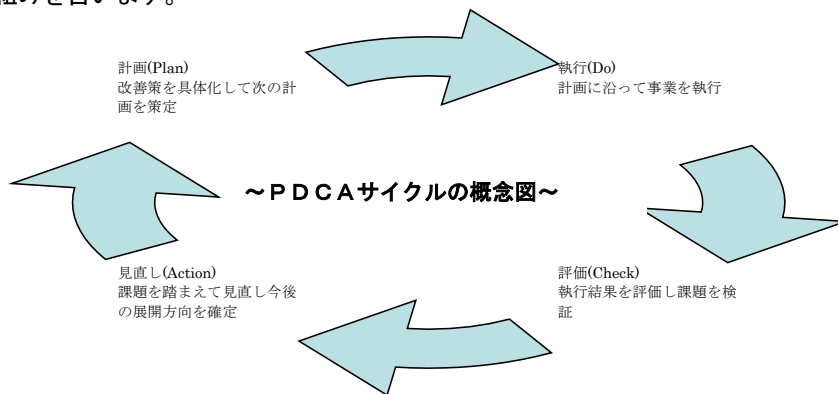
○白馬村総合戦略 31ページ (6)PDCAサイクルの確立

「まち・ひと・しごと創生」を実現するためには、PDCAサイクルを確立することが必要不可欠であり、重要業績評価指標(KPI)の設定により、効果の検証を行い、必要に応じ見直しを図ります。

○「PDCAサイクル」とは

事業の管理業務を円滑に進める手法の一つ。

Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Act(改善)の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善する仕組みを言います。



白馬村第5総合計画・総合戦略では、PDCAサイクル実現のために役場職員による内部評価、住民による外部評価を実施し、評価を公表します。

2. 評価スケジュール

期日	区分	備考
5月中	担当課による内部評価	出納閉鎖期間終了後、評価コメント
7月中	外部評価委員による外部評価	5段階評価平均点及び評価コメント
8月6日	第1回総合計画等評価委員会	評価とりまとめ
(8月24日)	第2回計画審議会(後期計画)	評価結果を後期計画策定に反映
10月	ホームページ等により公表	

3. 評価シートの見方

区分	内容
評価方法	総合計画、総合戦略の指標(KPI)に基づく内部評価、外部評価
内部評価	担当課による実績値報告と自己評価コメント
外部評価	委員による5段階評価の平均点及び評価コメント
	5 期待した成果
	4 概ね期待した成果
	3 半分程度の成果
	2 現時点では成果がみられない
	1 ほとんど進んでいない
* 内部・外部評価は、令和元年度実績に対する評価です。	

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	H26 2014 基準	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R2 外部評価	R2外部評価コメント	
暮らし安心してみんなが暮らせる村	多様性を尊重し、住民が主体的に共生・協働する村づくり	住民参画と協働	行政区の主体的な取り組みの支援	総務課	行政区加入率	52%	71%	70%	70%	80%	加入率は微減と推計しています。要因としては外国人世帯の増加が考えられます。今後は調査の基礎となる分母数の精査を行います。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.6	・白馬に住む人はすべて行政区に入ってほしい ・行政区加入メリットはさらにアップすべき。ゴミ処理・防災関係・教育関係・治安関係 ・集落支援員制度はとてもうまくいっていると思われる。住民と行政とのパイ役という意味でも、今後も充実させていくとよい。 ・白馬村に住む以上行政区に加入することを指導 ・想定を上回る災害が起きる昨今を考えると、地域の団結や支援が必要になり、未加入者に粘り強く行政区加入を進める必要がある。 ・災害等の助け合い、声の掛け合い等行政区単位の活動が大切なことも多くあると思いますので、外国人世帯も含め加入率が上がってくるのが良いと考えます。	
					地域づくり事業補助金活用地区	30	28	28	30	30	引き続きすべての地区に活用していただけるよう、周知、事業支援をします。				
			行政区の継続的な活動の支援	総務課・農政課・健康福祉課	集落支援員数	0	2	3	4	2	【農政課】令和元年度も支援員の長年の経験により小規模集落への支援や問題解決に尽力いただきました。 【総務課】小規模集落支援が中心ですが、非常に助かっている旨の意見をいただきました。令和元年度は外国人対応の支援員を増員しました。				
		住民活動・NPO等の支援	総務課		-	(後援)	(後援)	(後援)	-		イベント開催等、方向性が合致するものについては後援しました。協働のまちづくり推進交付金については、申請1件、交付決定は0件となっています。引き続き事業推進のため、周知を行っていきます。				
		開かれた行政運営	行政情報の発信	総務課	白馬村行政HP PV数 (行政トップページPV数)	60,000 → 288,358	170,111	184,743	144,944	70,000 → 200,000		フォトニュースやお知らせ等、担当課からの積極的な情報発信を行いました。新入職員向けの研修を毎年実施し、引き続き、情報発信に努めます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.8	・行政HPデザインはよくなりました。ただ行政HPから行政FBページへリンク見当たらない。 ・情報発信手段としてHPは限界がみられる。SNSにウエイトを移す必要がある。 ・わかりやすい情報発信に努める ・行政FBがどれぐらい村民に浸透しているのか不明の中で、数値目標の根拠はあるのか。 ・観光向けのみならず村民への発信もより魅力的なものになっていくことを望みます。
					行政FB いいね！数	-	1,086	1,360	1,603	1,000	効果的な広報手段として、引き続き情報発信に努めます。				
					ユーテレ白馬加入件数	1,906	2,025	2,047	2,088	2,100	加入件数は増加傾向です。指定管理者と協力し番組の魅力向上に努めます。				
			意見交換の場づくり	総務課		-	(30地区)	(27地区)	(28地区)	-	平成30年度に引き続き開催方法（日時、場所）について、各区の要望を反映しました。今後は開催方法について検討します。				
		多様な人々の交流・共生	移住・定住の促進	総務課	人口	9,050	9,028	8,947	8,795	9,000		官民協力し、村の魅力向上に努め人口維持、増を図ります。行政としては地域おこし協力隊を活用し、おためし移住の実施や移住セミナーへの積極的参加等移住政策に取組みます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.2	住民登録のメリットを明確にすべき ・村民割引施設 民間企業と交渉して、さらに住民登録の特色PRすべき ・スキー場リフト券・飲食店割引 ・様々な取り組みが直接移住に繋がっていないように思われる。施策を根本的に見直す必要があるかもしれない。 ・国外より国内、定住者を増やす策を考える。 ・村外からの定住者を増やすためにも、現住民の生活の向上が大切と考えます。その上で住民の「白馬は良い！！」という生の声を届けられたらいいと思います。
					人口の社会増数	111	170	312	185	111	官民協力し、村の魅力向上に努め人口維持、増を図ります。平成30年度より移住交流のための地域おこし協力隊を採用し移住施策に取組みました。				
					地域おこし協力隊員数	0	7	10	8	10	令和元年度中に2名の任期途中の退職がありました。引き続き定住につながる工夫、協力隊の活動の周知等行います。				
					移住イベント出展回数	0	2	2	4	2	引き続き広域連携を含め、白馬村単独だけでなく、圏域への魅力を創出していきます。				

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	H26 2014 基準	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R2 外部評価	R2外部評価コメント		
			多文化共生	総務課	意見交換会開催回数	1	1	1	2	2	通称マナー条例の検証、外国人向けの防災訓練を実施しました。					
			村外の白馬ファンの活用	総務課	ふるさと白馬応援し隊員数	50	70	73	75	70	目標値は達成しました。会員数は増加傾向ですが、メルマガ、その他媒体、イベント等を通じ隊員、白馬ファン増を図ります。					
					隊員主催イベント回数	0	1	2	1	1	1	移住ツアーで森林整備体験事業を開催しました。次年度はさらに多くの人に参加意欲が沸き、移住につながるイベントの開催を検討します。				
安心・安全の生活を支える村づくり	防災・減災の強化		地域支え合い支援	健康福祉課・総務課	支え合いマップ作成地区	17	19	21	24	30	平成22年度から毎年マップ作り講習会を開催してきており、昨年度は3地区が新たに作成し、策定済みとなった地区は24地区となりました。マップは災害時だけでなく、日常の地域での支え合い活動に活用できるため、引き続き講習会を開催していきます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.9	・防災マニュアル作成はよかった。追加、感染症に関する情報入れるべき。また、英語に訳すること ・防災アプリの構築が予定通り進んでいるので期待したい。また、防災無線機の各戸への配布もあるようなので、住民への危険周知をより確実にできるようになると思われる。今後はアプリの活用方法や観光客等への周知や対策にも課題として考えていく必要もある。 ・防災に徹する。村民が関心を持つことを徹底する。 ・支え合いマップ、アプリ、消防団等の防災・減災に対する内容は評価できると思いますが、直接かかわらない住民への周知にも努めていただきたいと思います。		
			防災・災害情報の伝達	総務課	防災アプリ構築	0	方針決定	構築	仕様確定及び公告	1	1				事業者が決定し、アプリの制作が始まりました。令和2年度中に公開をし、多くの方に利用されるように、周知に努めます。	
			消防団活動	総務課	消防団協力事業所数	6	6	4	4	10	10				10	村内の事業所に、広報紙等を活用し告知します。また、該当する事業所へ直接案内するなどアプローチを仕掛けていきます。
					消防団員応援ショップ登録店舗数	-	7	10	10	10	20				20	引き続き周知徹底し、協力店舗を増やしていきます。
			自主防災組織	総務課	自主防災組織設立地区数	26	26	26	26	30	30				30	未設置の地区に区長会議等で周知します。また、該当する区へ直接案内するなどアプローチを仕掛けていきます。
			村全体の防災への取り組み	総務課	地震総合防災訓練等参加者数	120	98	75	296	240	240				240	神城断層地震の経験を風化させないよう、自主防災組織や各種組織と連携を図り、訓練内容の充実に努めます。
			治山治水（国庫、県単関係）	建設課・農政課		-	砂防13件 治山8件	砂防7件 治山8件	砂防6件 地すべり2件 雪崩防止1件 治山2件	-	-				-	【建設課】新規の砂防施設、既設施設の修繕、砂防施設の有効利用等 砂防施設の充実に関する要望を長野県姫川砂防事務所へ毎年実施しています。【農政課】蔵平地区（ホテル東2箇所）の公共治山工事の一箇所が完了しました。残りは令和2年完了予定です。
日常の住みよさの確保			もてなしの村づくり	総務課		-	(アンケート)	(意見交換)	意見交換 パトロール 自粛要請	-	マナー条例検証と地域、飲食店、大規模イベントのパトロールを行いました。抜本的な解決には至りませんが、深夜に迷惑行為のある特定の店舗に対し、深夜営業自粛要請し、時間短縮が実施されました。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.5	・外国人観光客がらみのトラブルや刑法犯罪件数にに関して成果がみられるのは良い傾向。なかなか減少しない交通事故についてはソフト面だけではなく、危険地点マップの作成によりハード面での整備も必要と考える。 ・マナー条例の徹底 ・村内の移動手段的確保については、更なる検討が必要と思われる。通学バスも含めて。 ・住民の日常の住みやすさは移住定住者の増加につながるのではと考えます。住民・利用者目線が大切。		
			地域防犯力の向上	総務課	刑法犯罪認知件数	79	94	115	46	50	50				大北防犯協会連合会、大町警察署、白馬交番等関係機関と連携し、防犯対策を行い地域や家庭における防犯思想の普及を図ります。また、近年増加している特殊詐欺に対する防犯意識の向上を求めます。	

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	H26 2014 基準	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R2 外部評価	R2外部評価コメント
			交通安全の推進	総務課	交通事故発生件数	34	42	31	46	25	白馬村交通安全協会、大町警察署、白馬交番等関係機関と連携し、地域や学校の要望を取り入れた交通安全対策を行い、交通安全思想の普及を図ります。また、近年増加している外国人に対しても、警察等の関係団体と協力して、日本の交通ルールの理解を求めます。			
			村内の移動手段の確保	健康福祉課・観光課・教育課		-	(公共交通会議)	(公共交通会議)	(公共交通会議)	-	地域公共交通網形成計画の具体的施策について検討を行いました。			
			生活と観光と医療のための道路整備	建設課	インフラ長寿命化点検済施設数	12	72	橋梁設計1箇所 橋梁修繕工事2箇所 ボックスカルバート修繕1箇所	113→ 107		令和元年度は18橋（2巡目）の橋梁点検、10橋の修繕設計を行いました。令和2年度は23橋の点検、3橋の修繕工事を予定しています。			
			安全な住宅の提供	建設課・総務課	村営住宅戸数	16	30	30	30	34→ 30	令和元年度は、老朽化により入居見込みのない2棟を解体撤去しました。現在入居中の30戸については、引き続き入居者と連携しながら施設の適正な維持管理を行っています。			
					長寿命化が必要な村営住宅戸数	16	12	6	0	0		該当であった白馬団地は取壊しとなるため、すべての村営住宅で長寿命化が完了しました。		
			まちづくりマスタープランによる土地利用計画	建設課		-	(打合)	(申請)	-	-	現在策定中の立地適正化計画の策定作業と整合を図りながら、令和3年度以降にマスタープランの見直しに着手する計画です。			
			地籍調査の推進	農政課	地籍調査済面積 (ha)	765	20	10	6	848	八ヶ岳地区の北城21・22・23区は立会が困難な区域であり、一部の立会や整理、閲覧以降の業務が残っています。新規区域に入っていき状況ではなく、事務処理に専念する必要があり令和2年度は整理の年とします。下方修正(848→826)			
支え合う福祉と健康の村づくり	子育て支援	安全な妊娠・出産への支援	健康福祉課→子育て支援課	合計特殊出生率	1.19	1.07	1.22	1.01	1.30	合計特殊出生率は年毎に微増減があります。子育て支援施策の充実により、現在、子育て中の方が、弟妹を望めるような環境を整備し、出生率の向上を図ります。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.9	・出生数を増加させるためには、子育て支援施策の充実だけではなく、経済的な支援も必要となる。行政として総合的な施策が必要だろう。 ・子育て支援施策は様々な工夫により、良い成果が得られる。今後とも利用者の声を聞き、よりよい環境をつくってほしい。 ・自然は多く子育てしやすいようにも思いますが、子供を連れて気軽に同年代が集まる場所は少なく思います。「なかよし広場」だけでなく、生活環境の中で気軽に楽しめる場が(遊具のある公園等)あると良いですね。 ・妊娠出産子育てまた障がいの有無等、不安なく子供と接することができるように多くの面が充実してきたように思います。ますます充実していくように望みます。	
				妊婦基本健診受診率	97.1%	100%	100%	100%	100%	里帰り出産時の健診を補助し、全員の利用が図られています。				
				不妊治療費助成件数	4	8	5	2	4	毎年申請があります。不妊・不育症治療は、心身、経済面ともに負担が大きいため、今後も相談体制の充実を図ります。				
		安心して産み育てることができる医療体制の維持・充実	健康福祉課 子育て支援課	平日夜間救急医療事業箇所数	1	1	1	1	1	大北医師会の協力を得て、週6日稼働しています。利用者のいない日もありますが、地域の方々に有効に活用してもらえるよう引き続き周知に努めています。				
				大北圏域産科医数	1	1	1	1	1	1				市立大町総合病院の産科が継続できるよう広域的に働きかけを継続します。
		"なかよし広場"利用者数	1,764	1,656	1,583	1004	1,850	出生数の減少や未満児保育の拡大により利用者が減少しています。今年度から保護者のニーズがあり、決められた日だけでなくいつでも自由に遊びに来るように自由利用を拡大しました。引き続き、同年齢の子育て中の親子が気軽に集ったり子育ての不安や悩みを相談できる場を提供する目的から魅力ある事業の実施を努めます。						

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	H26 2014 基準	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R2 外部評価	R2外部評価コメント
			子育てに関する交流や相談の場づくり	子育て支援課	"自由利用"利用者数	1,119	633	573	1150	1,200	利用可能日を拡大、昼食を室内外問わず利用できるように、少しずつ利用者が利用しやすいように変えていきました。今年度はいつでも誰でも利用できるように毎日自由利用にしました。またどの年齢も安全に遊べるように環境を整えています。			
					子育て支援センター相談件数	44	46	256	635	60	子育て世代包括支援センター開設に伴い、妊娠期から18歳までの各種相談対応を一本化しました。さらに、母子保健事業を加え全ての子育て施策が一元化された結果、相談件数も増加しております。			
		子育て家庭への経済的支援		健康福祉課→子育て支援課	小児インフルエンザワクチン助成	-	591	687	813	985	助成への認知度が高まり、接種者数が年々増加し、地域全体のインフルエンザ感染の拡大防止に効果が得られています。			
				子育て支援課	子育て家庭優待パスポート協賛店舗数	20	26	30	30	24	村内協賛店舗数の目標値は達成していますが、「地域のみならず子どもと子育てを応援しよう」という意識を醸成するため、広報等による積極的な周知活動により、協賛店舗の更なる拡大に努めます。			
		子育てと仕事の両立支援		子育て支援課	休日保育利用者数	213	234	343	475	250	出生数は数年前に比べると減少していますが、観光産業が主産業である本村では、休日保育の需要は増加しています。それに対応するため、通常勤務をしている保育士が交代で休日保育の業務にあたっている状況です。増加傾向にある休日保育の需要に応えるには、保育士の確保が重要となるため、それらも含めて保育事業の充実に努めて参ります。			
					放課後児童クラブ利用者数	351	432	448	527	470	共働き世帯や自営業世帯が多い本村では、特に観光産業の繁忙期を中心に需要が高まっており、今後も事業を継続実施する体制が必要です。あわせて他の放課後の子どもの居場所づくり施策についても、検討して参ります。			
		障がい児支援		健康福祉課	児童通所給付利用者数	90	178	309	413	100	小谷村の事業所において新規事業開始したことにより、利用者が増加しました。必要な者がサービスを確実に利用できることを重視します。			
		障がい者支援			障害福祉サービス利用者数	40	46	41	44	55	必要な人がサービスを確実に利用できることを重視します。全利用者の計画相談を基に必要なサービスを実施します。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.9	・更なる支援に期待する。 ・各種支援があることの周知をよろしくお願いいたします。
		地域における自立生活の支援		健康福祉課	共同生活介護支給決定者数	7	15	12	15	17	必要な人がサービスを確実に利用できることを重視します。希望者の要望現状に合わせ支援します。			
					地域移行支援利用者数	0	0	0	0	1	必要な人がサービスを確実に利用できることを重視します。病院、施設等と連携し希望者の現状把握に努めていきます。			

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	H26 2014 基準	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R2 外部評価	R2外部評価コメント	
			日常生活支援用具給付件数			160	178	142	194	180	必要な人がサービスを確実に利用できることを重視します。希望者の要望現状に合わせ支援します。				
						209	472	483	221	300	必要とする人は利用できています。希望者の要望現状に合わせ支援します。				
			社会参加の促進と就労支援	健康福祉課	法定雇用率達成企業数	0	1	1	労働局照会予定	1	障がい者の就労に関する理解促進に努めていきます。				
					障害者優先調達推進法調達額	360,960	351,760	356,680	438,480	400,000	取扱品目の拡大を働きかけます。				
			権利擁護の体制づくり	健康福祉課	成年後見制度利用支援事業	0	0	0	0	1	成年後見制度の利用はありますが、本事業の該当者はありません。				
					居宅生活動作補助用具支給件数	1	1	0	0	3	令和元年度は申請がありませんでした。				
			人にやさしいまちづくりの推進	健康福祉課・建設課・総務課	地域福祉総合助成事業住宅改修件数	2	1	0	1	3	高齢者が安心して家庭で暮らせるよう住宅改修に係る費用を補助しました。				
					通訳者派遣利用回数	10	17	19	12	17	必要とする者は利用できています。希望者の要望現状に合わせ支援します。				
					介護予防取組みグループ数	19	22	22	23	24	新規に介護予防活動を行う団体が1団体増加しました。				
			高齢者福祉	地域包括ケアシステムの構築	健康福祉課	介護予防事業参加者数	5,839	6,836	5,976	5,321	7,000				新型コロナウイルス感染症の影響で、開催を見合わせたため参加者数が減少しました。
						地域ケア会議開催回数	6	6	6	5	6				介護、福祉に関わる多職種の参加により、地域の課題等の検討を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響で、1回中止となりました。
						配食サービス食数	1,693	2,513	2,954	2,877	2,000				地域包括支援センター及びケアマネジャー等がサービス利用の必要性を判断し、速やかに利用に結びつけています。
		生活支援サービスの体制整備		健康福祉課	乗合タクシー利用者数	7,729	6,898	7,380	8,676	8,100	乗客数は前年度比18%増加しました。しかし土日祝日及び17時便の実証運行の利用者は多くありませんでした。				
					白馬シニアクラブ会員数	964	1,152	1,236	1,251	1,000	シニアクラブの会員数は、年々増加しており、活動も介護施設でのボランティアなど活発に行っています。				
		高齢者の生きがいづくり		健康福祉課	シルバー人材センター登録者数	639	609	613	623	700	入会説明会を定期的に開催して登録者の増加を図っています。数値は大北全体の登録者数です。				
					認知症対策・権利擁護の推進	健康福祉課	認知症サポーター数	638	730	910	1,023	1,000	小学4年生を対象に認知症サポーター養成講座を開催し、目標値をクリアしました。中学生は、来年度から3年生を対象として実施します。		
		健康づくりと地域医療の充実		生活習慣病予防の推進	健康福祉課・住民課	特定健診受診率	47.1%	55.7	55.6	50.8% (速報値)	60.0%	平成30年度の確定数は55.6%。年々ほぼ変わらず推移していますが、目標60%を目指します。			
						特定保健指導指導率	73.3%	67.7%	68.6%	未確定	75.0%	平成30年度の速報値は68.6%です。令和元年度は未確定です。目標達成を目指します。			
				食育の推進	健康福祉課教育課・農政課	食育ボランティア登録者数	22	29	28	28	30	ボランティアの高齢化により、退会する方もでてきています。新規会員の登録に努めます。【農政課】毎年新規就農者が増え、今後も継続した取り組みをしていきます。			
						平日夜間救急医療事業実施日数	289	290	288	未確定	維持	開設から13年が過ぎ、大北地域における平日・同曜日夜間の初期救急の医療体制が確保されました。			

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	H26 2014 基準	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R2 外部評価	R2外部評価コメント
			地域医療体制の確保	健康福祉課	平日夜間救急医療事業患者数	522	495	402	未確定	維持	開設から13年が過ぎ、大北地域における平日・同曜日夜間の初期救急の医療体制が確保されました。			
					在宅当番医制度事業実施日数	285	214	217	未確定	維持	北部・中部・北部の3ブロックに在宅当番医を置き、救急緊急の医療応需体制の確保と充実を図り、医療業務を実施しました。			
					在宅当番医制事業内科数	3	3	3	未確定	3				
					在宅当番医制事業外科数	1	1	1	未確定	1				
					在宅歯科当番医事業実施日数	75	71	72	未確定	維持	平成18年度より在宅当番医を置き、緊急の医療体制の確保と充実を図り医療業務を実施しました。			
					スキー傷害診療実施日数	42	41	42	42	維持	冬期間の土日・年末年始・祝祭日の午後実施。北部地域のスキー傷害緊急救急体制を確保できている。外国人患者も増加しています。看護師等スタッフの確保が課題となっています。			
					スキー傷害診療患者数	1,274	1,298	1,353	1184	維持				
自立的・効率的で健全な行財政の村づくり	情報通信技術の活用	個人番号カードの普及及び活用による住民サービス向上	住民課	個人番号カード交付率	-	8.50%	9.95%	11.78%	20%	今年度末(令和3年3月)から個人番号カードに健康保険証機能が追加されます。上記の広報を行ない個人番号カードの普及の促進に努めてきました。今年度も更なる普及に努めていきます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.2	・個人カードの普及には、保持するメリットが明確にならないと難しい。国策なので村で独自にできることには限界があるかもしれないが、行政手続きの簡略化など、できることを探って普及に役立てて工夫も欲しい。 ・マイナンバーの必要性を周知する。	
		広域ネットワークの構築	総務課		-	(2回)	(2回)	(1回)	-	広域情報部会において今後のあり方について研究しています。				
		情報通信環境の整備・活用	総務課		-	(SC実施)	(SC実施)	(SC実施)	-	進化する情報機器や外部からの脅威に対し、国県の指導に基づきセキュリティ対策等随時実施しています。				
	行財政改革の推進	魅力ある人材の確保と計画的・効果的な職員研修	総務課	市町村職員研修センター研修受講者数	32	26	52	36 (128)	60	研修センター受講者数は減少しましたが、2回実施した独自研修は128名が参加しました。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.4	・積極的な行政改革に期待したい。	
					大北圏域相互乗入研修回数	-	17	14	5	15	大北全体での回数は減少しましたが、白馬村実施のSDGs研修には85名(村69名、他市町村16名)が参加しました。			
		財政計画の策定と財政状況の分析	総務課		-	(統一的基準の財務四表)	(統一的基準の財務四表)	-	-	-	計画は「白馬村実施計画」に今後の「財政状況試算表」として掲載し、分析は「財務書類」の分析指標等で公表しています。			
		財政健全化	総務課・税務課	実質公債費比率	11.8%	9.40%	9.90%	10.9	12.0%	未満				
				将来負担比率	22.9%	36.20%	65.40%	70.7	30.0%	未満				
			税務課	-	-	97.8	98.2	97.9	-	-	滞納整理の強化・推進により着実に未収金が減少しています。今後も初期滞納者への早期財産調査・滞納処分強化を図るとともに、滞納繰越分については入念な各種調査を実施し、滞納処分もしくは執行停止に繋げていきます。 新型コロナウイルスの影響による徴収猶予の特例制度については、納税者に寄り添った相談対応と措置を講じます。			

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	H26 2014 基準	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R2 外部評価	R2外部評価コメント
			公有財産管理	総務課		-	(個別計 画策定)	(個別計 画策定)	-	-	令和元年度は個別施設計画と再編整 備計画を策定しました。今後は状況に合 わせて随時見直しをしていく予定です。			
「世界水準」を意識し た観光の村づくり	競争力と持続可能 性を高める観光地 経営		白馬連峰への眺望 の魅力最大化	観光課・ 建設課・総務課	観光入込数(通年) 目標値(H31)250万人 観光入込数(4~11月) 目標値(H31)120万人 外国人観光客延宿泊数 (H31)100,000泊	-	(FWT)	(FWT)	(FWT)	-	大会会場におけるリアルタイム中継など、 趣向を凝らした大会運営により眺望の魅 力化を十分にアピールできました。一方で 来期以降の継続実施が課題です。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.6	・グリーンシーズンの観光客を増やす 努力は成果がみられる。民間の施設 に頼るのみならず、村内の景観や文 化の魅力を発掘、発信し、新たな誘 客につなげる努力が必要と考える。そ の為には、村内の公共トイレが少な い気がするので整備も考えてほしい。 ・今年は新型コロナウイルスの関係 で、すべてに影響があるため、村全体 が厳しい。対策を至急考えるべきで ある。
			核となるスキー場と 宿泊拠点の再生	観光課	ウィンターシーズン(12-3月) 観光客数(万人)	100	98	95	85	130	暖冬・雪不足の影響と2月以降の新型 コロナウイルス感染症の影響を受け、大 幅減少となりました。			
			国際リゾートに相 応しい受入環境整 備	観光課・総務課	HAKUBA VALLEY Wi-Fi 整備箇所	0	7	7	7	8→7	整備予定箇所の設置は完了しました。			
			魅力の多様化に向 けたコンテンツ創出	観光課	グリーンシーズン(4-11月) 観光客数(万人)	113	107	108	122	120	2018年開業の白馬岩岳マウンテンハー バーが新たな観光スポットとして人気を博 しました。また、地方創生推進交付金事 業を活用した、ランドステーション HAKUBAが新設され、アウトドアアクティ ビティを核としたグリーン期の観光資源が 整備されました。今後のプロモーション事 業の拡充によりグリーン期の魅力向上と 観光業の稼働率の平準化に期待が高 まっています。			
			観光業の活性化・ 平準化による安定 的な雇用創出	観光課		-	未来投資 事業開始	地方創生 推進交付 金事業継 続	地方創生 推進交付 金事業継 続	-	地方創生推進交付金事業の継続実施 とその支援により、基幹産業の活性化と 経済循環を図ります。			
			地域特性を活かし たスポーツツーリズ ムの推進	生涯学習 スポーツ課・ 観光課	スポーツ観光客数(万人)	101.5→ 104.0	101.1	97.9	102.4	113.6	インバウンド効果によりスキー場利用者数 が増加しました(前年比104.2%)			
					白馬ジャンプ競技場リフト乗車人数	74,061	56,948	54,673	55,660	83,000	GWが大型連休となったことによる増加 と、昨年度に比べ、リフト改修による運休 日が減り増加しました。冬期は映画撮影 による運休により、若干減少しました。目 標達成に向け、改善点を見つけ、利用 者を増やす方針を定めます。			
スノーハープクロスカントリー大会出場者 数	2,121	2,370			2,239	2,288	2,300	前年度の参加者数は上回ったものの、目 標まではあと一歩届きませんでした。参 引き続き加者の満足度を高める大会運 営を目指します。						
FISサマーグランプリジャンプ大会来場者 数	6,580	13,390			4,300	3,500	7,300	国際大会の開催については、長野県・長 野県スキー連盟・白馬村スキークラブで 開催に向けて誘致に取り組んでおりましたが、 今後は、東京2020オリンピックの開 催や予算確保など厳しくなるため、次世 代の選手育成の創出のための大会を実 施します。						
スノーハープマウンテンバイク大会参加者 数	280	733			240	233	310	地元定着型の大会として今後も関係 諸団体と協力し将来のオリンピック選 手の創出を目指し開催をしていきま す。						

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	H26 2014 基準	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R2 外部評価	R2外部評価コメント
			観光施設の維持管理	観光課		-	(随時パ トロール)	(随時パ トロール)	(随時パト ロール)	-	老朽化した落倉自然園の木道等修繕 工事を実施します。			
			広域観光の取り組み	観光課		-	(随時打合)	DMO化	法人設立	-	・三市村DMO (HAKUBAVALLEY TOURISM) が設立され、長野県重点 支援広域型DMOに指定されました ・令和2年度は統一デザインコードによる 観光看板の整備に取り組みます ・あわせて県内外の広域観光推進組織 との事業連携を図り、広域観光の推進に 取り組みます。			
農地と森を守り地産 を活かす村づくり	優良農地の保全	里山環境の保全	農政課	耕作放棄地面積(ha)	15.8	9.2	9.2	9.2	10.0	北城南部圃場整備が終了すれば、 0.6ha程度解消が見込まれます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.7	・農地利用集積は順調な一方、耕 作放棄地はあまり減少していない。 新規就農者へのハードルを低くして、 農地にあっせんなどを施策として考え ることも必要と思う。 ・収納体験はJAともタイアップして、よ り充実したものにしていこうと望まれ る。 ・荒れた農地を有効活用する事。 ・里山環境の保全について観光地と しての景観も考慮し進めていただきた いと思います。 ・圃場整備が進むことにより機械類の 大型化や更新が必要となります。購 入補助の拡大が望まれます。	
				多面的機能支払交付金取組面積 (農地維持) (ha)	404.64	404.41	404.41	391.59	410.00	新規地区の参入により面積が増加しまし た。今後も耕作放棄地の減少に務めるよ う加入していない地区に呼びかけていきま す。				
		農業施設の維持 管理	農政課	多面的機能支払交付金対象面積 (長寿命化) (ha)	315.09	366.46	366.46	391.59	400.00	新規地区の参入により面積が増加しまし た。今後も耕作放棄地の減少に務めるよ う加入していない地区に呼びかけていきま す。				
		ほ場整備の推進	農政課	新規地区(北城) (ha)	-	40.8	40.8	40.8	30	換地も終了し、1工区の工事発注が完 了しております。降雪が少なかったため既 に工事に着手しており、完成予定は令和 5年度となります。				

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	H26 2014 基準	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R2 外部評価	R2外部評価コメント
			認定農業者への支援	農政課	農業機械等購入補助件数（累計）	-	7	5	6	30	農業への投資は機械の購入や更新が大きくなり、国庫補助はハードルが年々高くポイント制のため大型農業者が優先となってしまいます。通常の認定農業者が農地を守っていくにはこの支援は継続的に必要です。			
					認定農業者への農地利用集積面積 (ha)	359	399	468	470	400	個人農家高齢化等による農業離れも目立ち集積率はUPしています。			
					認定農業者数	24	27	29	30	28	新たに個人1名が認定農業者となりました。			
			就農体験の機会づくり	農政課		-	(4回)	(4回)	(4回)	-	令和元年度は形を変えて収穫体験2回、料理体験2回を実施し地産地消を体験いただきました。（参加者は6家族17名）			
			有害鳥獣対策	農政課	農産物被害額（万円）	104.8	64.3	32.3	40.5	78	自家消費している農家など、把握できない被害は反映されていません。特にサルによる被害が増えてきており、引き続き取り組み継続していきます。			
		農産物のブランド化と特産品の生産・販売の推進	米の品質向上・ブランド化	農政課	白馬産ブランド米生産農家数	-	7	9	9	10	白馬村独自の基準により作付を指導し、取り組みました。実際の取り組みは10名ですが、平成30年度は1名が休みました。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.3	・観光立村として、地産地消を確実に進めることで、魅力は高まるはず。コスト面も含め、地産物の流通システムを構築していくことも必要と考える。 ・道の駅の改善（場所・大きさ）を要する。 ・近隣市町村の人にも興味関心を持ち、足を運んでもらえるようになることよい。 ・新たな特産品開発が必要ではないでしょうか。
			特産品の生産・販売強化	農政課	紫米消費量 (t)	6	7	7	6	8	異常気象（猛暑及び雪不足）によるお客様の減少による影響が大きかったと思います。引き続き特産品である紫米の消費増に力を入れていきます。			
					特産品栽培面積 (ha)	7	8	8.1	8.1	10	昨年同様の面積でありました。今後も新たな特産品の取り組みは継続していきます。			
			地産地消の推進	農政課	地場産品売上高（万円）	2,041	2,069	2,100	2,150	2,500	道の駅販売所でのみならず、ハピア等も入れるとかなりの地場産品の売上げがあり地産地消に貢献しています。			
					地産地消認定者	-	(アンケート)	(マッチング)	(マッチング)	25	昨年同様取り組みしてきましたが、なかなか認定には至っていません。何か違う方法を考えていきたいです。			
			道の駅建設と地域経済循環システムの構築	農政課・観光課・総務課・建設課	新しい道の駅	-	(採択)	(調査研究)	-	1	【総務課】先導的官民連携調査事業結果に基づき、民間で開発中の施設を注視しつつ、PPP・PFIの可能性について調査・研究を進めます。 【観光課】農水省が認定する「SAVOR JAPAN」の認定地域として、地域食や食文化の振興に関する取り組みを支援します。			

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	H26 2014 基準	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R2 外部評価	R2外部評価コメント
		森林の整備と活用	森林整備地域活動支援	農政課	森林整備面積（公共造林事業） (ha)	5.1	4.58	14.7	13.4	60→ 40	森林づくり県民税を活用した緩衝体整備（1.97ha）、山仕事創造舎による間伐等（9.43ha）、林業経営者協会による森林整備（2.0ha）を実施しました。今後も計画的に森林整備を継続していきます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.3	森林資源とふれあう機会は重要です。特に子供たちへの機会を増やしてほしいと思っています。
			森林資源とふれあう機会の創出	農政課・観光課		-	(5回)	6回	5回	-	【農政課】大北森林祭（1回）、木流観察会（3回雪不足による冬の観察会は中止）、森林の里親事業（1回）、合計5回開催しました。			
	商工業の振興により雇用を生みだす村づくり	商工振興・創業支援	商工振興	観光課	小規模事業者経営改善資金助成金額（万円）	108	140	125	124	162	地域を担う小規模事業者を引き続き支援します。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	2.9	・創業塾の成果で、創業者が増加しているのは良い傾向。ただ、コロナの影響もあり、定着させるためにはさらなる支援も必要。テレワークが普及しつつある流れをうまく利用し、移住にもつなげられる戦略を考えていく努力が必要。

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	H26 2014 基準	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R2 外部評価	R2外部評価コメント
			創業支援と空き店舗活用支援、後継者支援	観光課	空き店舗の斡旋と活用件数	-	0	0	1	5	新規創業と連携した空き店舗活用システムの構築を図ります。			
					創業支援者数	3	9	4	8	10	創業塾の成果が顕著に現れています。引き続き創業者支援に取り組みます。 ※実績値は年度集計			
			新しいしごとの創出	総務課	サテライトオフィス企業数	-	1	1	0	1	平成30年度末までノルウェービレッジをサテライトオフィスとして活用していましたが、ヤフー株式会社が撤退し、現在は本社企業1社（しくみ株式会社）となっています。施設の活用としてしくみ株式会社より2社に施設の貸し出しを行い空きスペースの活用も行っています。テレワークの利用者も増えているため、引き続き利用者の増加に向けた施策を進めます。			
民間活力を活かす村づくり	産官学金労言連携		大学・企業等との連携	総務課・観光課・健康福祉課・農政課・教育課	連携協定に基づき進行中の事業	-	4	6	6	5	【総務課】ヤフー株式会社、SBドライブ株式会社、信州大学、東京農大と連携協定しています。平成30年度はスノーピーク、KDDIと新たに連携協定を締結しました。ヤフー株式会社とは、白馬高校生を対象として「メディアリテラシー」特別事業を行いました。但し、連携しているものの事業実施が進まない協定先あります。 【農政課】KDDIからの紹介で、鳥獣対策に役立つトレイルカメラの検証を行った結果猟友会の負担軽減に大きく貢献された事から令和2年度に向けて購入費等を予算化しました。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.4	・連携協定は順調に行われているが、事業に結びつかないと意味がないので、確実に事業を進められるよう努力してほしい。
ひと一人ひとりが成長し活躍できる村	学びあい育てあう村づくり	次代を担う子どもたちの学習支援	「自ら学び、自ら考える力」と「生きる力」の育成	教育課	中学校情報端末活用生徒数（延べ）	0	378	587	789	900	情報端末整備は平成27年度から開始し、平成30年度には全生徒が1台の端末を持つようになっています。国の令和元年度補正予算により、中学校の大容量通信施設改修が予算化されており、令和2年度以降の端末更新と合わせて、双方向授業や動画授業など利用方法が広がりました。今後もICT支援員制度などを活用し、教員のICT活用技能向上に取り組みたいと思います。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.9	・学校支援事業に関しては、おおむね順調にすすんでいる。コミュニティスクールについては、さらに充実させる方向で動いており、今後期待したい。 ・更なる推進に期待する。 ・コロナ休校時等には端末整備の効果がより良かったと思う。日々進む分野なので、今後も整備等継続的に行っていくことが大切と考えます。 ・情報端末の整備は進んでいます。教員のICT活用技術向上への取り組みをお願いします。
			地域に開かれた学校づくり	教育課	信州型コミュニティスクール設置校数	0	3	3	3	3	学習支援ボランティアなども含めて順調に運営されています。令和2年度からは学校運営協議会に移行すべく準備を進めました。			
			安心・安全な学習環境づくり	教育課		-	-	-	-	-	令和2年度から「義務教育のあり方検討委員会」を立ち上げるように準備を進めました。			
			地域を担う人材の育成	総務課（白馬高支援）	しろま学舎塾生数	-	55	47	63	60	入塾生の数も増加傾向にあり、大学進学を考える塾生は積極的に受験コースを受講しています。今後は、白馬高校生以外の小谷・白馬地区の入塾について考えなければならないと思います。			

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	H26 2014 基準	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R2 外部評価	R2外部評価コメント
		自己実現を目指す 生涯学習と青少年 育成	限りない向上心を 支える生涯学習	生涯学習 スポーツ課	平均講座受講者数	15	22.2	19.4	18.5	22→25	雪不足及び新型コロナウイルスの影響により冬季は中止の講座が相次ぎ減少しました。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.5	・図書館の利用者数は頭打ち状態だが、新図書館への機運を盛り上げながら、図書館へ関心を高める努力をしてほしい。

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	H26 2014 基準	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R2 外部評価	R2外部評価コメント
			図書館の充実	生涯学習 スポーツ課	図書館来場者数（延べ）	12,800	13,811	15,274	15,048	25,000 0→ 16,000	来館者数は微減となりましたが、貸出冊数は前年比+5%でした。より多くの人を訪れる図書館となるよう努めます。			
			人権教育の推進	生涯学習 スポーツ課・ 住民課		-	74→340	300	270	350	【生スポ課】青少年育成村民大会や公民館講座を通じて人権教育の推進を図っています。 【住民課】今後も村長部局と教育委員会が連携し、青少年健全育成活動に参画します。令和元年度の社会を明るくする運動白馬・小谷地区推進大会が小谷村で開催され、約140名が参加されました。 なお、令和2年度の前述した大会を白馬村で開催する計画でしたが、新型コロナウイルス感染症の関係から、次年度開催することに決定しました。			
			青少年健全育成 事業の推進	生涯学習 スポーツ課		-	-	150		150				
			文化・芸術の振興	生涯学習 スポーツ課	コンサート等入場者数（延べ）	340	926	1217	1239	500→ 1,000	多種多様な分野に触れる機会が創出できるよう、ウイング21ホール友の会と共に公演を企画・運営しています。NAGANO国際音楽祭in白馬については共催として多くの芸術家を迎え入れています。			
生涯にわたりスポーツ に親しむ村づくり	スポーツによる健康 づくりと活力の創造	スポーツによる健康 増進	週1日以上スポーツをする人の割合	生涯学習 スポーツ課		40%	-	-	-	46%	ライフスタイルやニーズ、価値観が多様化しているため、指導者との連携により教室の参加者等の増加を行ったうえで調査を実施します。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.6	・本格的にスポーツに取り組まなくとも、日常的に運動ができる環境づくりが大切。全体的に成果が出てきていると思う。 ・少子高齢化が進む中、スポーツの必要性を周知する事。また、施設の整備（総合的な設備）が必要である。 ・中学校の部活動時間の短縮などにより、社会体育としてのスポーツが増えたので、地域の指導者の育成にも力を入れる必要がある。
			子どもが日常的に 楽しくスポーツに取り 組むことができる 環境づくり	生涯学習 スポーツ課	中学生のスポーツ実施率	73.0%	-	-	89.0%	83.0%	男女の平均スポーツ実施率は目標を上回る事ができました。今後は運動をする子どもと運動をしない子どもの二極化の進展や、少子高齢化等による団体スポーツの編成のあり方、放課後にスポーツをする機会等の提供を行い更に実施率の向上を図ります。			
					小学生のスポーツ実施率	67.8%	-	-	90.0%	77.0%	男女の平均スポーツ実施率は目標を上回る事ができました。今後は運動をする子どもと運動をしない子どもの二極化の進展や、少子高齢化等による団体スポーツの編成のあり方、放課後にスポーツをする機会等の提供を行い更に実施率の向上を図ります。			
					スポーツ功労賞等受賞者数	22	36	19	33	25	ウィンタースポーツ以外でも日本のトップに位置する選手が出始めています。引き続き受賞者の掘り起しを行います。			
					スポーツ少年団登録者数	362	318	324	360	410	少子高齢化や取り組むスポーツの多様化が進み目標人数に達しませんでした。今後も登録者数増に向けた体験会等を実施し登録者数の増加につとめます。			

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	H26 2014 基準	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R2 外部評価	R2外部評価コメント
			スポーツ競技者の 競技力向上	生涯学習 スポーツ課	体育協会加盟団体登録者数	1,142	1,098	971	1,025	1,280	少子高齢化や取り組むスポーツの多様化が進み目標人数に達しませんでした。今後も登録者数増に向けた体験会等を実施し登録者数の増加につとめます。			
					白馬村スキークラブ競技登録者数	62	64	39	50	70	村の文化でもあるスキー競技の発展に向け、スキークラブと連携し、競技者登録増加を目指します。なお、小中学生の競技者数は138人です。			
					総合型地域スポーツクラブ登録者数	209	311	214	-	230	総合型地域スポーツクラブは、登録型ではなく、体育協会の一部となったため削除。			
			スポーツ施設の整備 及び充実	生涯学習 スポーツ課	社会体育施設等利用者数（延べ）	86,935	71,204	73,606	66,874	96,000	新型コロナウイルスの影響により3月の利用者が減少しました。予約システムの導入など、引き続き利用しやすい環境の構築に努めます。			
					ウイング21利用者数（延べ）	53,946	73,974	57,513	61,050	60,400	各種団体が開催するイベントや教室の開催数により利用者数の増減があります。今後も関係団体と連携を図り利用者数の増加に努めます。			
					クロスカントリー-競技場利用者数（延べ）	12,121	12,203	12,513	11,602	13,500	夏季の台風による利用キャンセルや、冬季の雪不足により利用人数が減少しました。新たな利用者を増やすよう努めていきます。			
一人ひとりに活躍の 場がある村づくり	人のつながりによる 活力の創出	多様な人々が交流する 機会の創出	総務課	-	(2回)	(2回)	(2回)	-	東京においてふるさと納税高額納税者、ふるさと白馬応援し隊とヤフー社員を対象とした懇親イベント実施しました。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.2	・イベントのマンネリ化しないようにお願いします。		

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	H26 2014 基準	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R2 外部評価	R2外部評価コメント			
			若者交流・結婚支援	総務課	村内の若者交流イベント開催回数	-	2	0	0	1	大北地域で開催される若者交流イベントを協力して実施します。						
					広域連携による若者交流イベント開催回数	-	2	2	1	1	山麓クリバ、山麓ハロウィンを開催しました。(96名参加)						
		男女共同参画社会の推進			講演会開催回数等	1	0	12	12	2	誰でも参加できる、こども食堂への補助を実施しました。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.5	・職員の採用については、増加させるのは難しいかもしれないが、各種委員会の委員などへの女性の委嘱を進めるのもよいのでは。 ・女性の活躍の場の推進に期待したい。 ・地区役員の女性数が少ないのでは。(数値が把握できているかわからない)			
			女性活躍の推進	総務課	白馬村役場の女性職員の採用割合	0	16.7	25	25	30	一般事務職(保育士、保健師等除く)。職員の採用にあつては、男女の区別なく、試験及び面接等により判断しています。						
自然_魅力ある自然を守る村	かけがえのない山岳自然環境を守る村づくり	天恵の自然との共生	自然環境保護	観光課・総務課・生涯学習スポーツ課	環境配慮型トイレへの改修	1	1	(天狗山荘復旧)	(天狗山荘復旧)	2	【観光課】山岳トイレは改修時に環境配慮型へ移行するよう検討します。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.1	・今は止まっているが、今後とも環境型への推進に努めてほしい。 ・山岳トイレの改善は急務だと考える。 ・改修を進めてください。			
					自然エネルギーの利活用	クリーンエネルギー・自然エネルギーの利活用	農政課・観光課・総務課	小水力発電量(万Kwh/年)	-	115	120	127	140	【農政課】昨今の異常気象もあり、発電機に負荷をかけないよう安全運転としています。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.3	・更なる推進に期待する。
								ペレットストーブ購入補助件数(累計)	5	15	20	22	30	令和元年度は5台を予定していたが、県費補助金の縮小もあり新規台数2~3台の割当となりました。			
								ペレット販売数量(袋)	689	1,085	1,432	1,259	1,200	暖冬により昨年より減となりました。			
					低公害公用車両数	4	5	6	6	6	令和元年度は前年度と比較して変動ありません。						
自然との生き方を受け継ぐ村づくり	守るべきふるさとの歴史と文化の継承	先人が築いた有形・無形文化継承	登山・スキーの歴史・文化の継承	生涯学習スポーツ課	歴史民俗資料館や復元古民家で文化財に係る活動を行った回数	-	8回	10回	8回	10回	古民家で文化財の整理を行っています。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.0	・リフト券の村民割引など、具体的なメリットがある施策が必要。スキー場に足を運ばせることから始めないと、スキー離れは止められないと思う。 ・雪国である以上、ウィンタースポーツの向上に力を入れる。 ・子供達にはスキー教室等回数を増やすこと。			
					週1~2回スキーをする小学生の割合	29.0%	-	-	-	33.0%	スポーツニーズの多様化により、ウィンタースポーツ離れが深刻化しています。スキーの楽しさを伝える工夫や係る回数を増やすための検討をいたうえて調査を実施します。						
					週1~2回スキーをする中学生の割合	20.8%	-	-	-	24.0%	スポーツニーズの多様化により、ウィンタースポーツ離れが深刻化しています。スキーの楽しさを伝える工夫や係る回数を増やすための検討をいたうえて調査を実施します。						
					週1~2回スキーをする成人の割合	8.7%	-	-	-	10.0%	スポーツニーズの多様化により、ウィンタースポーツ離れが深刻化しています。スキーの楽しさを伝える工夫や係る回数を増やすための検討をいたうえて調査を実施します。						
					体協スキー教室参加者数	81	79	73	51	90	白馬村スキークラブに委託し、各スキー場で特色を出し実施しましたが、雪不足により限られたコースの及びクロスカントリーは中止し、参加者数が減少しました。この試みは、今後も進めていきます。						

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	H26 2014 基準	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R2 外部評価	R2外部評価コメント
美しい景観を守り育む村づくり	自然環境に調和したまちづくりの推進	世界水準の観光地に相応しい開発基準		総務課 →建設課		-	基準改定作業	新基準適用	新基準適用	-	新基準による環境審議会は3件ありましたが、開発と保全は経済状況の影響もあることから、永遠の課題である旨、認識をしました。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.3	・落書き対応が必要 ・不在オーナー（別荘・外国人）に対する不在時のメンテナンスに強化 ・自然環境は、経済に流されてしまうと簡単に失われてしまうが、それを取り戻すことはとてつもない時間が必要となることを肝に命じて施策を考える必要がある。 ・景観が村の財産であることを強く意識して、保全へのウェイトを重くして判断してほしい。 ・大規模開発は抑制する事。村として規制条例をつくり、厳しく指導することを望む。
				総務課 →建設課		-	(3回)	景観計画策定開始	景観計画策定開始	景観行政団体移行	景観計画策定継続しました。住民や白馬ファン意見公聴のためワークショップ（3回）とフィールドワーク実施し、報告を作成しましたが、立地適正化計画、建築形態規制図、白馬駅前無電柱化事業との整合が次年度以降の課題となりました。芝浦工大の建築選考の先生、学生に協力を戴きました。			
			空き家・廃屋対策	総務課		-	(26件)	(21件)	(14件)	-	自己の財産は自己で管理するということを中心に地区と連携し、景観保持等に努めました。			
			不法投棄・野外焼却の防止	住民課		-	(週1回)	(週1回)	(週1回)	-	・引き続き不法投棄監視員による巡回を行っています。（週1回） ・野外焼却の禁止については、特に外国人住民向けに英文チラシを作成し配布するとともに、村内の不動産事業者にも外国人が不動産を取得する際における周知協力を依頼しています。			
きれいな水と空気に囲まれる村づくり	ごみ処理広域化への対応とごみ減量化	ごみ収集・運搬体制の強化		住民課	地区集積場箇所数	52	67	74	77	57	リサイクル物みの集積場・小規模ステーションも含め全行政区に設置され2年度目となりました。 令和元年度では、小規模ステーションが同一行政区内に4か所新設された外、既存施設の更新が1件ありました。各行政区の状況に合致する収集場の形態を地域と共に模索・追加設置も視野に進めています。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.8	・焼却ごみの減量化がなかなか進まないのは問題。行政側が広報に努めている効果が残念ながら出ていないように思える。 ・生ごみ処理機の普及をより強く進めることも必要。飲食店や小規模宿泊施設等への積極的導入なども検討すべきでは。 ・更なる徹底に期待する。
					生ごみ処理機利用世帯数	150	207	216	233	300	統計上のごみの排出を抑制する上で、生ごみの自己処理が進むことは好ましいことから、今後も導入補助を継続します(行政が設置する生ごみ堆肥化施設は、統計上行政収集量に区分され排出抑制につながりません)。			

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	H26 2014 基準	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R2 外部評価	R2外部評価コメント
			ごみの削減と分別の徹底	住民課	焼却ごみの量 (t/年)	3,000	2,898	2,856	2,931	2,900	白馬村・小谷村・大町市から排出される焼却ごみの排出量の比率がごみ処理負担金の比率となります。 令和元年は平成30年と比較して3市村とも焼却ごみの量が増加した結果となりました。 今後も、「分ければ資源、混ぜればごみ」の観点でごみの分別を推進するため、ごみの出し方早見表（英語版も作成済み）の全戸配布、行政区別のごみ分別の講習会開催を継続していきます。 また排出抑制として、プラスチックごみの削減のため長野県が推進する信州プラスチックスマート運動の3C（チョイス（意識して選択）、チェンジ（すこしずつ転換）、コレクト（分別して回収））について、この3Cを意識した消費行動を消費者に、販売行動を事業者継続して周知していきたいと考えます。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響で衣類・布類について、主要国への輸出が停止しリサイクル待ちが多量となったため、R02年6月から衣類・布類の回収が停止することから、焼却ごみの増加が懸念されます。			
			北ア広域連合との連携によるリサイクルセンターの活用とリサイクル率の向上	住民課	リサイクル率	22%	21%	20.0%	(今後国が実施する統計調査で確定)	30.0%	リサイクル率が平成28年度から1%づつ減少していますが、焼却ごみも同じく減少しています。リサイクル率向上のため、分別の徹底と4Rを意識した消費行動を消費者に、販売行動を事業者周知していきたいと考えます。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響で衣類・布類について、主要国への輸出が停止しリサイクル待ちが多量となったため、令和2年6月から衣類・布類の回収が停止することからリサイクル率の低下が懸念されます。			
		きれいで安心・安全な水環境	上水道の安定供給	上下水道課	29年度に水道施設更新計画を策定する	-	100%	70%	70%	-	病院、避難所等の重要給水施設へ供給する管路の耐震化を優先した個別更新計画を策定いたします。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.6	
			水質保全	上下水道課	水質保全の啓発、定期的な美化清掃、自然林の保全	-	(随時)	随時	随時	-	「知らせる」のみにとどまらず、住民参加で取り組めるよう努めます。			
			浄化センター長寿命化	上下水道課	機械・電気設備の更新 (事業費予定総額に対する決算額の累計率) (H26年度：実施計画の策定、H27、H31.4の地方公営企業法の適用に向け、3年計画で移行のための調査を実施(全体事業に対する各年度の事業内容率))	29%	53%	80%	80%	100%	ストックマネジメント実施のための施設情報の収集・整理（現状把握）を進めます。			
			公営企業会計導入	上下水道課	H28：基本計画の策定 H29：固定資産調査+評価 H30：移行に向けたシステム検討、例規の改定	-	35%	100%	100%	地方公営企業会計に移行済	将来に渡り持続可能な経営基盤の確保のために、必要な情報を把握し、経営の効率化、改革を図り上下水道経営について審議会を始めとした適切な説明責任を果たします。			

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	H26 2014 基準	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R2 2020 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R2 外部評価	R2外部評価コメント
			効率的なし尿処理 方法の確立	住民課		-	(随時打合)	継続	継続	-	引き続きし尿・浄化槽汚泥の公共下水道施設での受入れを検討します。 受入予定地区の合意が大前提となることから、地元との協議を行っていきます。 なお、令和2年度において、新型コロナウイルス感染症の関係から、関係地区の総会等が中止されていることもあり、スピード感を持って取り組みたいものの、時間を要する可能性があります。			

基本目標	基本施策	重要業績評価指標 (KPI)	担当課	H26 2014 基準	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R1 2019 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R2 外部評価	R2外部評価コメント
■ 地域の資源と人を活かした「しごと」を創出する		新規正規雇用者数 →大北地区企業説明会白馬高校からの参加者	観光課	30→8	30→8	30→8	16	13	50→25	・告知チラシの全戸配布、広報無線、白馬高校内で進路指導担当との更なる連携により、参加者数増加を図ります。 ・地方創生推進交付金事業の実施による新規雇用者創出効果にも期待をしています	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.3	・白馬で働きたいと思う人への周知を徹底させること。
	白馬産農産物ブランド化	白馬産米ブランド化 (取組み農家数)	農政課	-	5	7	9	9	10	継続して取り組みしています。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.6	・徐々に成果がみられているが、伸び悩んでいる感がある。ブランド化の魅力を生産者に伝える努力が必要なのかもしれない。 ・農作物の多様性を推進するため農家への支援が必要。
		紫米の消費量 (t)	農政課	6	7	7	7	6	8	異常気象 (猛暑及び雪不足) の影響が大きく、消費量が減となりました。			
特産農産物の振興 (栽培面積) (ha)		農政課	7	7	8	8.1	8.1	10	継続して取り組みしています。				
新たな創業支援と空き店舗の活用支援	空き店舗の斡旋と活用件数	観光課	0	1	0	2	1	5	商工会 (創業塾サポート協議会) と連携し、空き店舗活用を推進します。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.4	・創業塾の成果がみられ新規創業者が増加しているのは良い傾向。創業後に継続できるような支援も考えて、定着を図ってほしい。	
	店舗後継者数	観光課	0	0	0	0	1	3	商工会の取り組みを支援します。				
	新規創業者数	観光課	3	5	9	4	8	10	創業塾の成果が顕著に現れています。引き続き創業者支援に取り組みます。 ※実績値は年度集計				
グリーンエネルギー・自然エネルギーの利活用	ペレットストーブ購入補助件数 (累計)	農政課	5	12	15	20	22	30	県の補助金の付きが年々悪くなってきました。下方修正 (30→25)	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.2	・小水力発電は順調にしているが、これに満足せずさらに進めていくことを願う。	
	ペレット販売袋数	農政課	689	971	1,085	1,432	1,259	1,000	暖冬により昨年より減となりました。				
	小水力発電量 (万KWh)	農政課	-	108	115	120	127	100	農政課：発電計画時の年間可能発電電力量には至っていませんが、安全運転により順調に稼働しております。				
グリーンシーズンの観光振興		観光客数 (4~11月) (万人)	観光課	113	100	117	108	122	120	民間投資によるグリーン期のハード施設も整備され、アウトドアアクティビティを軸とした観光資源が強化されています。引き続き地方創生推進交付金事業の継続実施と民間事業者の取り組みを支援し、観光所得の平準化を図ります。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.6	・民間事業のみに頼ることなく、村の隠れた魅力を発掘発信し、村内滞在時間を増やす工夫が必要。 ・公共トイレが必要 ・更なる推進に期待する。

基本目標	基本施策	重要業績評価指標 (KPI)	担当課	H26 2014 基準	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R1 2019 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R2 外部評価	R2外部評価コメント
	道の駅の建設と地域経済循環システムの構築	道の駅売品収入額 (百万円)	観光課	249	230	219	230	207	300	・白馬村の特産品、農産品を集約した道の駅独自のネット販売サイトの構築を図るなどの、指定管理者の取り組みを支援します。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.1	・現在の道の駅ではやはり限界がある。その中で課題を整理し、道の駅整備につなげてほしい。 ・特産品農産品のコーナーの面積が少ない。
	観光業の体力強化に向けた計画の推進	観光客数 (万人)	観光課	224	209	218	220	239	250	・来訪者実態調査、モバイル空間統計など基礎データの分析により、村内の観光資源をターゲットし、DMOの効果的なプロモーションの取り組みを支援します。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.3	・今回のコロナの関連で今後インバウンドに頼る危うさも出てきた。新たな戦略を考えていかねば観光産業が厳しくなるかもしれない。 ・今年にはインバウンドには期待できないため、日本人の集客に力を入れる。 ・今回のコロナのようなことがあると国内県内へのアピールも重要と感じます。
		外国人観光客延宿泊数	観光課	77,724	100,310	113,970	164,377	集計中 (6月頃 発表予定)	100,000	・来村した外国人観光客が、安心してまちあるきを楽しめる環境整備に取り組みます。あわせて、持続可能で魅力ある滞在環境を促進するため、観光・宿泊施設のイノベーションに取り組みます。			
	看護師と介護職員等の安定雇用	新規就業者 (看護師) ⇒医療従事者数 (看護師・准看護師) ※出典 長野県衛生年報 (隔年)	健康福祉課	0⇒ 57	64	-	57	-	2⇒ 65	看護師の確保には、どの機関も苦慮している状況が続いています。各事業所と連携を図りながら、専門職の確保に努めます。 ※指標の見直しを行いました。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.1	・人材不足は全国的なので、なかなか難しい。白馬の住み易さをアピールして他地域から呼び込むなどする働きかけも必要かも。 ・資格のある人を調査して、働きた推職場にする事。(3歳未満の子がいる人等) ・人材不足は内容がきつから。施設の雇用人数の基準は見直さなければ、人材は集まらないと思われる。 ・勤務体系給与などとも合わせて職場環境や状態がより良い方向へ行くことが望まれます。
		新規就業者 (介護職員) ⇒介護人材養成講座受講者数 (累計)	健康福祉課	0	6	13	25	28	4⇒ 30	介護人材不足は、慢性的な状況ですが、生活支援などを担う人材養成講座を、広域連合、大北5市町村合同で開催しました。 ※指標の見直しを行いました。			
■ 白馬への新しい「ひと」の流れをつくる		人口の社会増数	総務課	111	57	170	312	185	111	官民協力し、村の魅力向上に努め人口維持、増を図ります。平成30年度より移住交流のための地域おこし協力隊を採用し移住施策に取り組みました。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.6	
	魅力ある白馬への移住・定住支援	移住者数	総務課	-	66	15	76	19	20	窓口アンケートにより捕捉。令和元年度は住民課窓口との連携不足によりアンケートの配布漏れがあったため、庁内での連携をしっかりと図り、実数の把握に努めます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.5	・移住者の支援は必要であるが、白馬の伝統を守る指導も必要。
		地域おこし協力隊員数	総務課	3	5	7	9	8	10	令和元年度中に2名の任期途中の退職がありました。引き続き定住につながる工夫、協力隊の活動の周知等行います。			

基本目標	基本施策	重要業績評価指標 (KPI)	担当課	H26 2014 基準	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R1 2019 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R2 外部評価	R2外部評価コメント
		サテライトオフィスの設置企業数	総務課	-	0	1	1	0	1	平成30年度末までフルワービレッジをサテライトオフィスとして活用していましたが、ヤフー株式会社が撤退し、現在は本社企業1社（しくみ株式会社）となっています。施設の活用としてしくみ株式会社より2社に施設の貸し出しを行い空きスペースの活用も行っています。テレワークの利用者も増えているため、引き続き利用者の増加に向けた施策を進めます。			
		移住定住フェアの開催回数	総務課	0	1	2	3	4	2	引き続き広域連携を含め、白馬村単独だけでなく、圏域への魅力を創出していきます。			
	地域高校である白馬高校の魅力化	他県からの入学者数	総務課 (白馬高校支援)	0	13	18	15	20	15→21 (実数)	入学者数においては、県内他地区及び県外生が数多くっており、国際観光科の知名度もかなり浸透しているものと考えられます。今後は、通学可能な生徒の確保に力をいれ、地元生へのアピールを行っていく方法を考えています。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.8	・他県からの入学者と地元の入学者が増加しているのは良い結果。しろま学舎による補習などの魅力を抱き合わせて底上げが測れると良い循環ができていくと思う。 ・他県募集も必要であるが、地元や県内の子供たちの入学させることが必要。 ・村の子供に村のいいところを知ってもらう機会が多くあると良いと考える。
	外国人の児童・生徒に対応した教育環境の整備	外国人住民登録者数	教育課	177	245	445	468	514	240	平成30年度までは県費の日本語指導員でしたが、令和元年度から村単独で講師を雇用しています。支援員を活用した取り出し指導や補充的な指導、チーム・ティーチングにより、外国籍児童生徒の指導体制を行っています。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.8	・外国人が着実に増えている中で、それに対応した行政がより求められる。成果はこれから出てくるので、着実に施策を実行してほしい。
	都市部からの児童・生徒の受け入れ	受入留学生数 →小中学校転入児童生徒数 (KPI変更)	教育課	0	8	13	15	10	10	子育て支援施策が移住定住施策につながるように、妊娠期から子育て期にわたる総合的な子育て支援施策の充実に努めてまいります。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.4	・目標は達成しているが、前年より減っていることが気になる。
■ 若い世代の結婚・出産・子育ての「きぼう」をかなえる		年間出生数 (累計)	健康福祉課→ 子育て支援課	63	43	46	46	41	350	年間50人の目標には届きませんでした。引き続き、子育て環境を整備し、出生数の増加を促進します。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.2	・出生数のコントロールは難しいが、経済的な支援も含め、魅力的な施策により、気運が出てくるとは思うので、努力してほしい。 ・結婚出産は個人のことなので、行政の努力では難しいことも多いと思うが、その環境づくりが行われ、希望が持てるようになることが望まれます。

基本目標	基本施策	重要業績評価指標 (KPI)	担当課	H26 2014 基準	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R1 2019 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R2 外部評価	R2外部評価コメント
安心・安全な妊娠・出産への支援		合計特殊出生率	健康福祉課→ 子育て支援課	1.19	0.87	1.07	1.22	1.01	1.30	合計特殊出生率は年毎に微増減があります。子育て支援施策の充実により、現在、子育て中の方が、弟妹を望めるよう子育て環境を整備し、出生率の向上を図ります。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.7	・新生児家庭との信頼関係を気付くことに力を注いでいる成果がみられる。その後の子育てにつながるのでいい取り組みだと思う。
		妊婦基本健診受診率	健康福祉課→ 子育て支援課	97.1%	97.5%	100.0%	100.0%	100%	100%	里帰り出産時の健診を補助し、全員の利用が図られています。			

基本目標	基本施策	重要業績評価指標 (KPI)	担当課	H26 2014 基準	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R1 2019 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R2 外部評価	R2外部評価コメント
		新生児訪問実施割合	健康福祉課→子育て支援課	74.6%	93.1%	86.7%	84.8%	89.5%	100%	出産後1か月以内を目途に、可能な限り自宅を訪問し、子育ての始まりを支援し、基盤となる信頼関係の構築に努めます。里帰り出産や外国人等、訪問ができない場合は、個々の状況により随時、対応しています。			
子育てへの安心サポート	休日保育の利用者数	子育て支援課	213	259	234	343	475	270	出生数は数年前に比べると減少していますが、観光産業が主産業である本村では、休日保育の需要は増加しています。それに対応するため、通常勤務をしている保育士が交代で休日保育の業務にあたっている状況です。増加傾向にある休日保育の需要に応えるには、保育士の確保が重要となるため、それらも含めて保育事業の充実に努めて参ります。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	4.0	・子育て支援の取り組みは全体的にうまくいっている。とてもいい傾向だと思う。この分野のいい情報が周知されれば、子育て世代の移住促進や出生数の増加にもつながると思うので、今後もより充実するように努力してほしい。 ・共働き家庭が多いため、時間外等工夫が必要。	
	放課後児童クラブの利用者数	子育て支援課	351	464	432	448	527	470	共働き世帯や自営業世帯が多い本村では、特に観光産業の繁忙期を中心に需要が高まっており、今後も事業を継続実施する体制が必要です。あわせて他の放課後の子どもの居場所づくり施策についても、検討して参ります。				
	子育て支援センター個別相談件数	子育て支援課	44	52	46	256	635	60	子育て世代包括支援センター開設に伴い、妊娠期から18歳までの各種相談対応を一本化しました。さらに、母子保健事業を加え全ての子育て施策が一元化された結果、相談件数も増加しております。				
婚活サポート事業	婚姻数（累計）	総務課	41	61	113	138	134	270	若者交流事業がきっかけとなるよう、出会いの場を創出していくとともに、個別のマッチングについても他の機関とともに検討を進めます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.4	・目標値には遠いが着実に伸びているのは良い傾向と思う。民間ともタイアップしながら出会いの機会を増やす努力を続けてほしい。 ・気軽に交流できる場を多くする。	
ICTを活用した教育の推進	中学校タブレット活用授業（延べ人数）	教育課	0	48,000	46,480	49,100	789	900	全校生徒1人1台のタブレット端末配備が完了しています。導入目的であった、「主体的対話的な学び」に寄与するように、ICT支援員を活用して、教員のICT活用指導力の向上を図ります。また令和2年度には初年度導入の端末の更新時期がきますので、計画的な機器更新を図ります。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.7	・中学校で、早くからタブレットによる授業が行われたおかげで、今回のコロナによる休校でも、リモート授業へ移行しやすかった。 ・今後はその活用方法を研究して、効果的に利用できるよう行政サイドからも情報提供できるとよい。 ・タブレットの活用は評価する。特にコロナ対応。	

基本目標	基本施策	重要業績評価指標 (KPI)	担当課	H26 2014 基準	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R1 2019 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R2 外部評価	R2外部評価コメント
		小学校タブレット活用授業 (延べ人数)	教育課	0	0	1,858	2,098	657	690	情報端末はクラス単位で1人1台が使用できるように整備してありますが、施設の老朽化などもあるため現在は新たな整備をしていない状況になっています。今後はプログラミング学習等も見据えるなかで、両小学校と整備方法などを検討していきたいと思います。			
■ 将来にわたって住み続けたい魅力ある「まち」をつくる		新築住宅戸数 (累計)	税務課	28	94	133	183	228	230	専用住宅・併用住宅を合わせて45棟が新築されました。さらに旅館・ホテル・簡易旅館は、52棟建築されています。しかしながら、新型コロナウイルスの影響が未知数であることから先行き不透明な状況です。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.6	・住宅が増えても居住する人が増加しないのでは意味がない。また、景観に配慮した建物になるよう指導を徹底することも必要。 ・建物の数だけでなく、永住できるよう指導する。 ・新しく建築されたところが今後どう動くのか少し心配
	地域包括ケアシステムの構築	介護予防取組グループ数	健康福祉課	19	19	22	22	23	24	新規に介護予防活動を行う団体が1団体増加しました。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.7	・支え合いマップは、その作成過程でも、つながりを確認することにもなるので、全地区での作成が進むよう支援してほしい。 ・更なる支援に期待する。
		災害時支え合いマップ作成地区	健康福祉課	17	17	19	21	24	30	平成22年度から毎年マップ作り講習会を開催してきており、昨年度は3地区が新たに作成し、策定済みとなった地区は24地区となりました。マップは災害時だけでなく、日常の地域での支え合い活動に活用できるため、引続き講習会を開催して行きます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない		
健康づくり支援		特定健診受診率	健康福祉課	47.1%	53.5%	55.4%	55.6	50.8% (速報値)	60.0%	平成30年度の確定数は55.6%。年々ほぼ変わらず推移していますが、目標60%を目指します。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.7	・特定健診受診率が上がらない原因を探って、対策をとる必要がある。呼びかけだけでは伸びないと思う。 ・検診の重要性を村民に周知する。
		特定保健指導率	健康福祉課	73.3%	66.7%	67.7%	68.6%	未確定	75.0%	平成30年度の速報値は68.6%です。令和元年度は未確定です。目標達成を目指します。			
		食育ボランティア登録者数	健康福祉課	20	27	29	28	28	30	ボランティアの高齢化により、退会する方もでてきています。新規会員の登録に努めます。			
小集落への集落支援員の配置		集落支援員数	総務課	0	0	2	3	4	2	小規模集落支援が中心ですが、非常に助かっている旨の意見をいただきました。令和元年度は外国人対応の支援員を増員しました。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	4.0	・集落支援員による成果は出ているので、今後も数を増やして、きめ細かいサービスができるといい。 ・支援員の更なる活動を望む。

基本目標	基本施策	重要業績評価指標 (KPI)	担当課	H26 2014 基準	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R1 2019 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R2 外部評価	R2外部評価コメント
	安心な生活を守る買い物支援	支援車両の運行台数→ 買い物を目的としたデマンド型乗合タクシー の乗客数	健康福祉課	857⇒ 7,729	954⇒ 7,855	908⇒ 6,898	869⇒ 7,380	8,676	1,000⇒ 8,100	乗客数は前年度比18%増加しました。 しかし土日祝日及び17時便の実証運 行の利用者は多くありませんでした。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.8	・支援車両による成果は出ている ので、今後も数を増やして、きめ細 かいサービスができること。 ・利用者が着実に延びているのは、 村内公共交通を考えていく点でも 重要と考える。アンケートなどでニ ーズを把握し、より効率のいい運用に なるよう努めてほしい。 ・デマンドについて村民周知を徹底 する。 ・更なる利用者目線の運航を期待
	汎用防災アプリケーションシステム構築による防災対 策	アプリダウンロード数 (累計)	総務課	0	0	アンケート調査・ 方針決定	構築	仕様確定及	3,000	事業者が決定し、アプリの制作が始まり ました。令和2年度中に公開をし、多く の方に利用されるように、周知に努めます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.1	・成果は公開後となると思うが、より 多くの方が迅速で的確な情報を得 られるよう、周知と運用に心掛ける よう期待する。 ・早急に対応してほしい ・自然災害等多くある中、アプリの 有効活用に大きく期待します。
	図書館建設による情報発信と広域連携	図書館来場者数	生涯学習スポーツ課	12,800	12,920	13,811	15,274	15,048	25,000 → 16,000	来館者数は微減となりましたが、貸出冊 数は前年比+5%でした。より多くの人が 訪れる図書館となるよう努めます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.5	・目標には達しなかったものの、近 年着実に増加しつつある。新図書 館建設に向かって、村民の関心を 高めるためにも、図書館からの働き かけは重要。 ・新図書館建設が交流の場を広げ るきっかけになることを期待します。
	ごみ処理の広域化とごみの減量化	焼却ごみの削減 (t)	住民課	3,135	3,106	2,898	2,856	2,931	2,900	令和元年は平成30年と比較して、大 町市・白馬村・小谷村(ごみの共同処 理をしている市村)とも焼却ごみの量 が増加した結果となりました。 今後も、「分ければ資源、混ぜればご み」の観点でごみの分別を推進するた め、ごみの出し方早見表(英語版も作 成済み)の全戸配布、行政区別のごみ 分別の講習会開催を継続していきま す。 また排出抑制として、プラスチックごみの 削減のため長野県が推進する信州プ ラスチックスマート運動の3C(チョイス (意識して選択)、チェンジ(すこしづ つ転換)、コレクト(分別して回収)) について、この3Cを意識した消費行動 を消費者に、販売行動を事業者に継続 して周知していきたいと考えます。 なお、新型コロナウイルス感染症の影 響で衣類・布類について、主要国への輸 出が停止しリサイクル待ちが多量となっ たため、令和2年6月から衣類・布類の回 収が停止することから、焼却ごみの増加 が懸念されます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.5	・ごみの減量化がなかなか達成でき ていない。原因を探るとともに、個人 事業者への指導強化他、補助、 生ごみ処理への具体策の広報等、 積極的な対策も必要なかもしれない ので、検討してほしい。 ・ごみの処理についてはもっと詳しく 理解させ、常に自覚を持たせること を周知する。

基本目標	基本施策	重要業績評価指標 (KPI)	担当課	H26 2014 基準	H28 2016	H29 2017	H30 2018	R1 2019	R1 2019 目標	R2内部評価コメント	外部評価基準	R2 外部評価	R2外部評価コメント
		リサイクル率	住民課	21%	22%	21%	20.0%	(今後国 が実施す る統計調 査で確定 10月 頃)	30.0%	リサイクル率が平成28年度から1%づつ減少していますが、焼却ごみ量も同じく減少しています。リサイクル率向上のため、分別の徹底と4Rを意識した消費行動を消費者に、販売行動を事業者に周知していきたいと考えます。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響で衣類・布類について、主要国への輸出が停止しリサイクル待ちが多量となったため、令和2年6月から衣類・布類の回収が停止することからリサイクル率の低下が懸念されます。			
新たな広域連携による地域力の向上と経済・生活圏の形成	新たな広域連携で取り組む事業分野		総務課	0	4	7	9	9	8→10	大北地域で連携して実施する市町村の広域連携推進事業として取り組んでいます。令和元年度は未就学児対象眼科屈折検査事業に代わり魅力体験ツアー開催事業を行いました。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.8	・着実に広域連携が進んできている。生活圏という考え方が今後重要になっていくと思われるので期待したい。 ・更なる活動に力を入れる。

白馬村総合計画等評価委員

	所属	氏名	備考
1	白馬村民生児童委員	志水あゆ美	
2	白馬商工会長	杉山 茂実	
3	白馬村体育協会会長	山岸 忠	会長
4	区長会会長	田中 哲	
5	まちづくり白馬友の会	松沢 幸一	
6	白馬村シニアクラブ会長	下川 辰男	
7	大北農協白馬支所長	竹田 俊幸	
8	白馬村索道事業者協議会会長	倉田 保緒	
9	白馬村ボランティア連絡協議会会長	伊藤 静江	
10	観光地経営計画委員	ケビン モラード	
11	公募委員(元山麓区長)	藤田 直子	
12	公募委員(図書館施設検討委員会委員長)	富山 正明	副会長
	事務局	氏名	備考
1	総務課長	吉田 久夫	
2	総務課 企画調査係長	矢口 浩樹	
3	総務課 企画調査係	田中 元気	